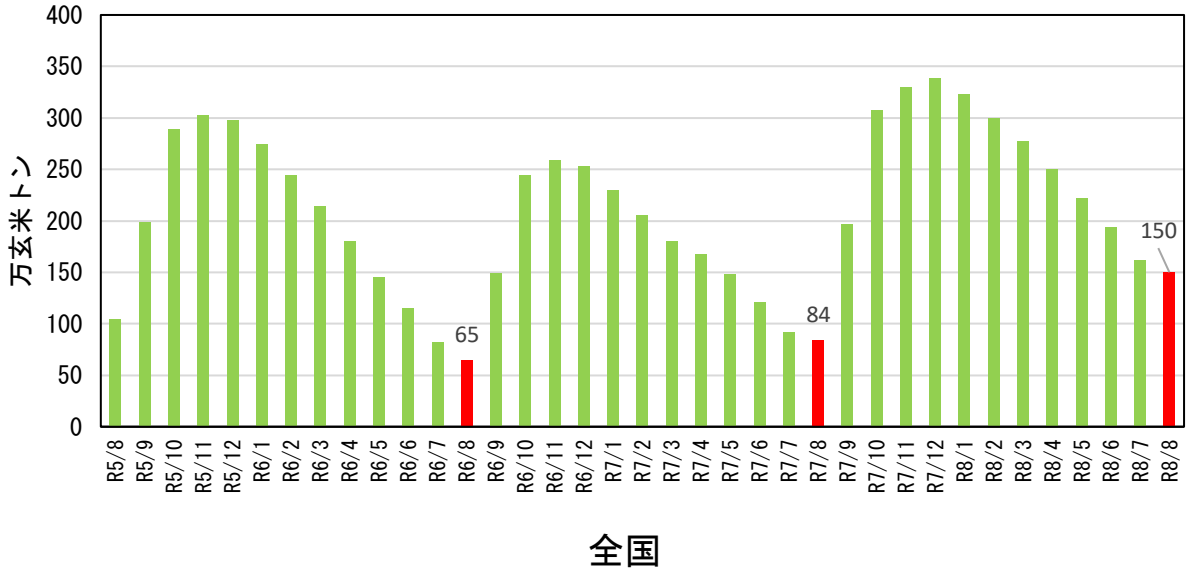
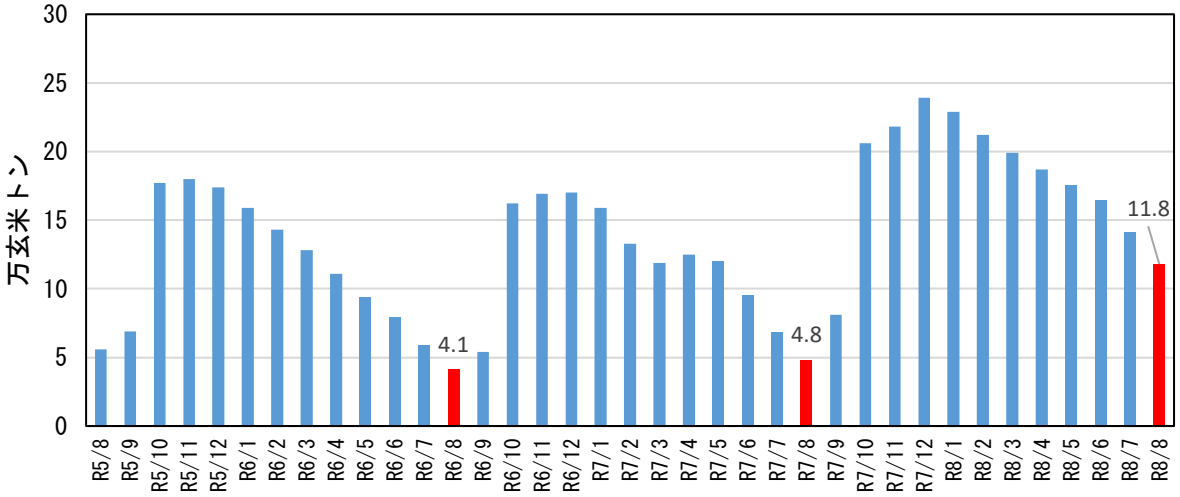
○民間在庫量（出荷＋販売段階）の推移

令和８年８月末時点の民間在庫量は、全国では１５０万トンとなり、前年同月より６６万トン多い状況です。

一方、福島県においては、１１．８万トンで前年同月より７．０万トン多い水準です。



全国



福島

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」
注１　水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
　２　出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入れ数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
　３　販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
　４　令和7年3月以降には、売り渡した政府備蓄米の数量を含む。